

火の魂ファミリーの皆さんいつも本当にありがとうございます。

5月はキミとホイップの台湾カステラ業態が新規オープンして1ヶ月が経ちました。多くのお客様にご来店していただき、本当に有り難く思います。

新規オープンで沢山のスタッフの協力があり1ヶ月目を終えることができました。キミとホイップゆいの社の皆さん本当にありがとうございました。

そして新店舗のフォローをしてくれたスタッフの皆さんにも心から感謝しています。

さて今月の社長からの手紙は、社会に出て間もない新社会人が多いと思うので「社会人とは？」という話を書き綴ってみたいと思う。4月から新社会人になった人は6月で社会人として2ヶ月経ったことになる。改めて学生時代と社会人との違いに色々とギャップを感じ苦しむこともあると思います。改めて学生と社会人の違いを簡単に言うと、「与えてもらう側」から「与える側」に立場が変わるということ。産まれてすぐに育ててくれた人から愛を与えてもらい、学校では学びという場を与えられ、生活する上では生活費や色々な物を買って貰って生きてきたと思います。社会に出ると言うことは、様々な与えてもらう事から卒業し、4月1日から社会人になり与える人間に生活が一気に変わります。しかし学生まで与え続けられて育った環境から、いきなり社会人になったとしても何の実感もなく、与える意味を分からずに20代があっという間に過ぎてしまい、家庭を持ちいざ与えなければならない環境に立たされたときに、与えるほど自分自身に力がない人が世の中に非常に多いと感じる。※とは言え私も30歳までは恥ずかしながらその一人でしたが……。社会人になって間もない人に伝えたいことは、与える側に立っている事に当事者意識を持ち、仕事を通して与えることを考えて行動するように自分を見つめ直すと良いということです。仕事で与えるとは？お客様に喜びを与えること、働く会社や組織の役に立つことや必要とされるように自分の行動で与えることです。少し難しい話かもしれませんが、学校ではこの事を一切教えてくれないので、社会に出て学生気分のまま、指示を待ったり与えてくれるのが当たり前だと思っていると、いつまでたっても与えられず、与えられないことに不満を感じてしまいます。社会で活躍できる人は「お客様と組織に良い影響を与える」この事を、仕事を通して実践している人です。社会人とは「経済活動」の一員とも言い替えることができます。お客様に喜んでもらい何度も商品を買ってもらい、そして組織に貢献した分だけ、自身の収入も上がり社会人として経済的に自立していきます。

なかなか「お金の稼ぎ方」などは、学校では教えてくれませんが、社会に出たらやっぱりお金を自分の力で稼げるようになる事は、長い人生では非常に重要な事です。社会人とは？＝顧客と組織に良い影響を与え、経済的な幸せを自身の力で稼げる人「貴方から買いたい、貴方にこの仕事をお願いしたい」そう思われる事が大切ですね。